

一般社団法人農林水産振興機構による

まち・ひと・しごと創生提案

概要

01

山林の相続対策

相続未登記の山林が増える中、法的・実務的課題を抱える山主の支援が急務です。林業業者や土業などと連携し、相続登記から利活用までをワンストップで支援する「山林まるごと安心サービス」を提案します。山林の放置を防ぎ、次世代への健全な資産継承を支援します。



02

自治体保有山林のカーボンクレジット化

自治体が保有する未利用山林のCO₂吸収量を計測し、J-クレジット等を活用したカーボンクレジット事業に転用。収益を林道整備や間伐等の森林管理費に充当することで、税収以外の安定財源確保と脱炭素社会への貢献を同時に実現します。



03

地域のバイオマスを活用した独自エネルギー源の確保

間伐材や未利用木材、農業残渣などを活用し、ペレット・チップ化して地域熱供給や発電に使用。地域エネルギーの自立と同時に林業の収益源化、地産地消型の循環経済を目指します。



04

地元産農林水産物を活用した名物作り

地域ブランド構築の一環として、地元食材を活かした「郷土料理の再定義」「新・特産品」の開発を推進。観光客への訴求力を高めるだけでなく、道の駅やふるさと納税での展開により、農林水産業の売上向上にも貢献。



05

遊休農地を活用した アロマオイル精製用植物の栽培

遊休地でラベンダー、レモングラス、ヒノキ等のアロマ用植物を栽培し、精油・アロマ製品を地元産品として展開。香りによる地域ブランディングや観光資源化も図ります。



06

ふるさと納税返礼品の 開発支援

地元産の加工品や工芸品、森林体験ツアーなど、魅力的で地域色の強い返礼品を企画。クラフトバターや天然アロマ、間伐材製品などの高付加価値商品を通じて寄付額の増加を狙います。



07

地域に愛着を持ってもらえる 「ふる里の魅力教育」

小中学校において「ふるさと学習」や地域資源体験型のカリキュラムを推進。地元企業や農林漁業者と連携した実地教育を通じて、若年層の地元志向を育てます。



08

農林水産業における IoTの導入促進

スマート農林業の実現に向けて、センサー、ドローン、リモート監視等の導入を支援。効率化と高品質化を両立し、後継者不足や高齢化への対応を図ります。



09

大企業の誘致より 地元企業の競争力強化

外資や東京の大資本依存ではなく、地元の中小企業・個人事業主の販路開拓やブランド強化、事業承継の支援を重視。地域金融機関とも連携し、地元経済を基盤から支える施策を提案します。



10

地域の魅力発信と 移住者・関係人口の拡大策

これら全体施策を統合し、「地域の循環的な自立モデル」として全国に発信。都市部との関係人口形成、ワーケーション誘致、移住支援金などを活用し、地域外からの関与人口を着実に増加させるプロジェクトを展開します。



地方創生の課題解決型アプローチとして官民連携による
包括的・実行可能な提案を本機構は全力で支援してまいります。



一般社団法人

農林水産振興機構

〒963-8071
福島県郡山市富久山町
久保田字乙高72番地5

TEL

024-925-0353

FAX

Mail

024-983-5229
contact@j-affa.org

